



## わたしたちが 未来のためにできること

地域の産業・医療にとって必要不可欠な「ガス」を安定して届けることで、未来につながる豊かな社会の実現を目指しています。エネルギー供給の担い手として、災害時や緊急時でも安定して供給できる体制を整えることは私たちの使命です。自社のBCP対策を強化するとともに、災害発生に備えて地域との連携も深めています。また、エネルギーと資源の効率的な利用を追求し、省エネ化や再生可能エネルギーの利用などを進めています。安来ガスセンターでは、J-クレジット制度も活用してカーボンニュートラル化を実現しています。



### 太陽光発電

太陽光発電システムは、垂直型と屋根置き型を採用。総消費電力量の半分近くをカバーします。



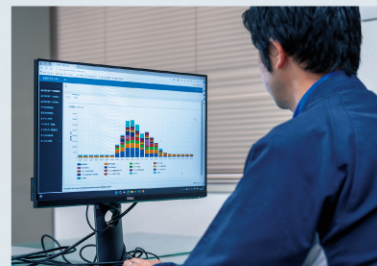
### V2H Vehicle to Home

太陽光発電等の電力を蓄電し、夜間電力に利用。停電時はEVを非常電源としても活用できます。



### 電気自動車

安来市と電気自動車(EV)を活用した連携協定を締結。災害時の電源確保に用いられます。



### EMS エネルギーマネジメントシステム

工場内のセンサーが空調や太陽光発電量を管理。自動でエネルギー使用を最適化します。



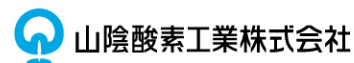
### 非常用発電設備

災害に強いLPガスによる発電で、停電時も安定して医療ガス等を充填できます。



地域を支える  
未来を創る

2



### 安来ガスセンター

〒692-0031  
島根県安来市佐久保町 496-28  
TEL.0854-22-3332 FAX.0854-23-0185



山陰酸素工業公式 WEB  
<https://www.sanin-sanso.co.jp>



■ 安来駅よりタクシーで4分 ■ 山陰道安来I.C.より自動車2分

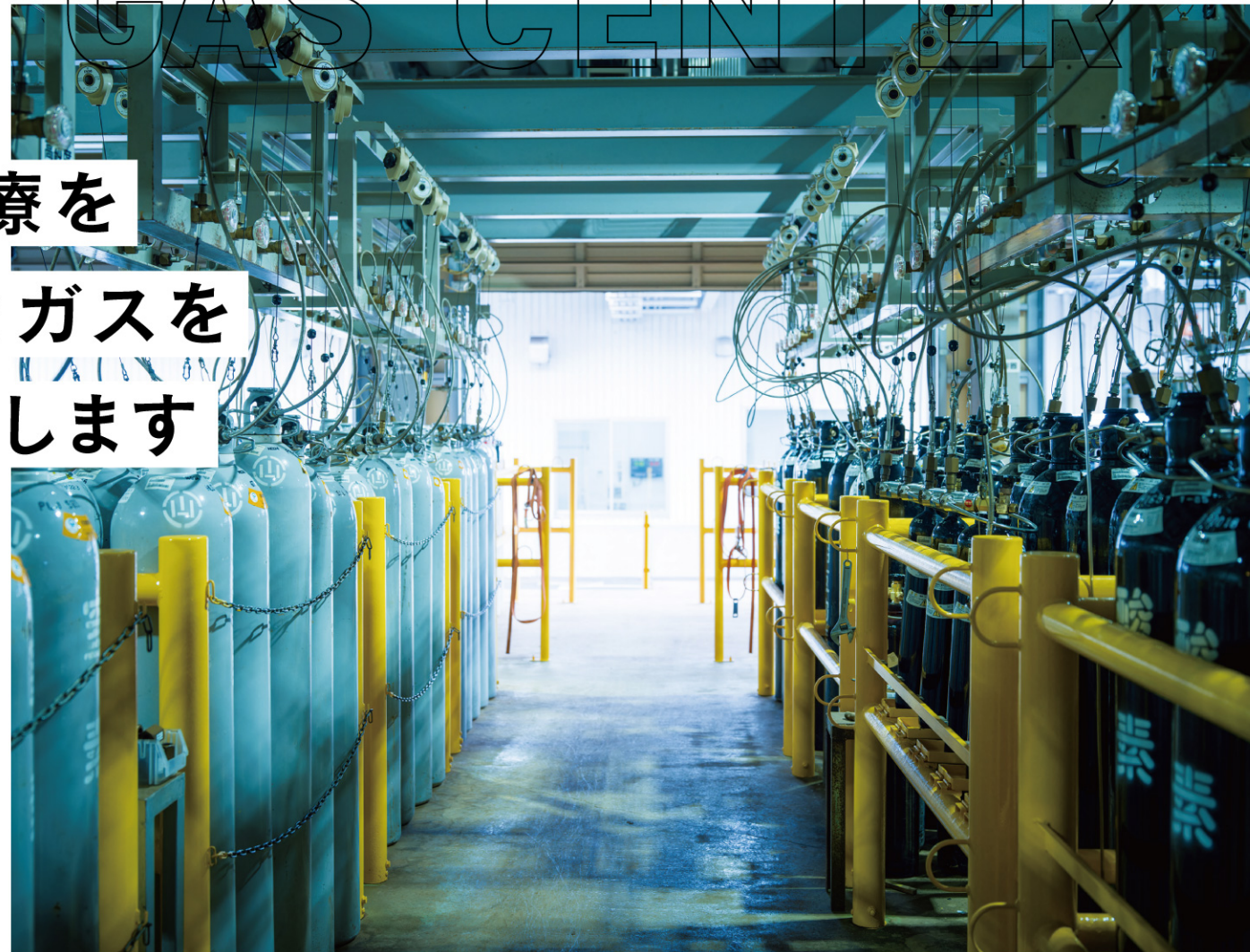
## 山陰酸素工業株式会社 安来ガスセンター

San-in Sanso YASUGI GAS CENTER

# YASUGI GAS CENTER

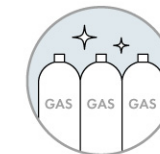
## まちの産業・医療を支える高品質なガスを安定してお届けします

酸素や窒素、アルゴン、炭酸ガスなど、医療現場やものづくり、食品産業に欠かすことのできないガスを、高品質かつ安定してお届けするために、充実の設備を整えています。安来ガスセンターで充填されたガスは、山陰両県の工場や病院に配送され、それぞれの用途で地域の暮らしを支えています。また、エネルギーインフラを担う会社として、地域との連携や環境に配慮した取り組みも私たちの大切な役割です。



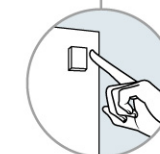
## ガスの充填供給の流れ

厳しい法令の基準に基づき、徹底した品質管理と緊急時対策を行い、高品質なガスの製造(充填)と安定供給を可能にしました。



### STEP 01 容器の受入検査

1日に回収される容器は、一般工業用ガスが約200本、医療用は約400本。一本一本、目視で検査して、汚れやサビ、ラベルの欠損などがないかチェックします。



### STEP 02 自動制御でガスを充填

ガスの充填はボタン一つで自動充填。機械で厳密に管理するとともに、漏洩がないか、正しく充填されているかチェックします。



### STEP 03 分析・品質チェック

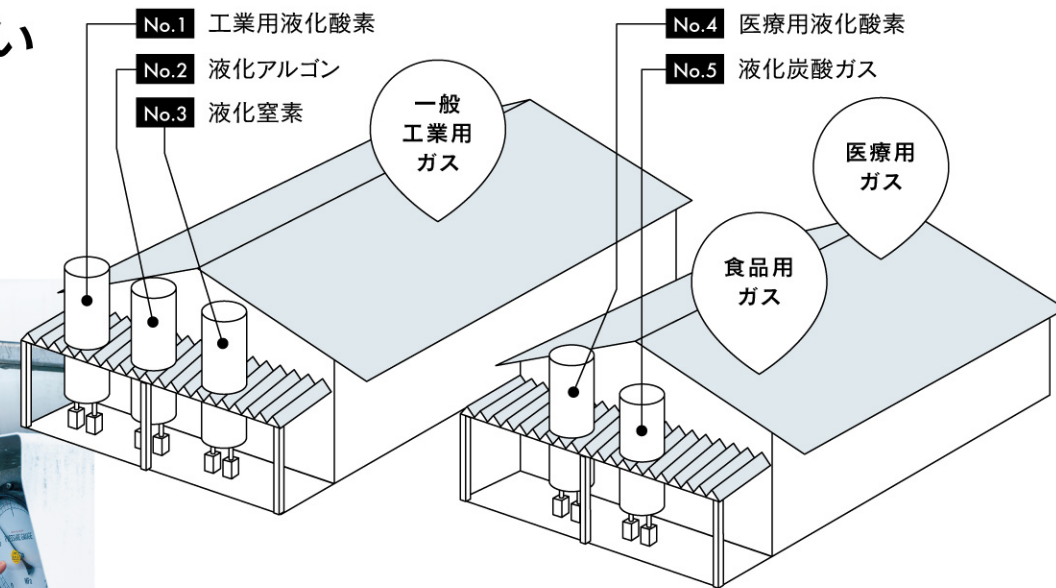
自動分析装置によって基準に合格しているかチェックします。医療用酸素は、配送前に必ず一本一本ラベルや圧力チェックを行います。



### STEP 04 運搬・出荷

チェックを終えたガスは、山陰両県各地に最終確認を経て出荷されます。

## 地域に欠かせないガスを充填する安来ガスセンター



安来ガスセンターでは機械による自動化を進め、高品質のガスを製造。原料液化ガスの貯蔵設備として、工業用とは別に医療用酸素の専用貯槽を採用しています。また、充填用ポンプを複数台設置しています。



### 圧縮ガス自動充填設備

自動バージョンシステムを採用し、品質の向上を図ります。



### 液化ガス充填設備

バーコードにより、自動的に充填終了。重量を決定し、過充填を防止します。



### 充填ポンプ

各ガス、2台設置により故障時のリスクを回避します。



### 医療用酸素自動充填設備

自動制御システムの採用により、品質の安定、作業の安全を確保します。



### 自動分析装置

充填と分析をリンクさせ、製品のトレーサビリティを確保します。



### 医療用液化ガス充填設備

医療用液化酸素・二酸化炭素の設備を一体化させ、作業の効率化を図ります。